

《編集後記》

春と言えば、私の中では、静かな別れの季節で、緩やかに時間の流れる季節であった。しかしながら、東日本大震災など、大きな災害もこの季節に起きてきた。今年は、新型コロナウイルスの流行である。先頃、WHOは、パンデミックを宣言し、その危機的状況を世界に発信した。まだ不明な点も多いウイルスは、世界中で不安をかき立てており、経済的な損失も莫大なものになりつつある。日本でも小中高校などが一斉休講を要請され、一部では再開の動きもあるが、先が見通せない。人・カネ・モノが国境を越えて自由に行き来するというのがグローバル化と言われるが、こうした感染症も世界的に拡散してしまうのもグローバル化の一面であろう。こうした負の経験も、次の社会の設計に生かしていく必要を痛感する。(M・T)

横浜国大 国語教育研究 第45号

2020年3月 発行

編集・発行 横浜国立大学国語教育研究会
代表 高木 まさき

発行所 横浜国立大学国語教育研究会
〒240-8501

横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-2

高木まさき研究室内

TEL 045 (339) 3423